

かしどんどん



ねん だい ごう
2022年 第41号

だいじ まいごう か たの
題字は毎号なかまが書きます。お楽しみに！

だいじ きら 直弥さん (わかば)
題字：吉良 直弥さん (わかば)

「わかば」開所いたしました



れい わ ねん がつ にち しやうがいふくし じぎょうじょ かいしよしき ど おこな
令和4年4月1日、障害福祉サービス事業所「わかば」の開所式を執り行いました。
当日は榎の木の理事の吉田氏、評議員の前田氏、遠藤氏、豊田氏、浦塚氏。そして監事の松寄氏
にもご出席いただきました

榎の木は障害福祉サービス事業所として、通所系、グループホーム、ヘルパーステーション、そして「わかば」を含めて全部で6事業所になりました。

このように榎の木グループは新たに、「わかば」という福祉サービス事業所ができましたことを、ともに喜び、ともに祝福したいと思います。



それ、行政の方、理事さんをはじめ、職員、仲間、仲間のご家族の方、そして榎の木を支えて下さっている地域の皆さんのご努力のたまものと感謝しております。

榎の木は平成5年の1月に法人認可を受けまして、同年8月1日に大分市で初めての社会福祉法人身体障害者通所授産施設「ワークスペース榎の木」として、20名の仲間が発足致しました。

それから29年、来年は30周年記念になります。



今では、仲間60名、新しい事業所わかばを開所しましたので、仲間80名の
大所帯になる予定です。

現在職員数は41名です。今は、コロナの影響でレクリエーションや旅行、大きな催しものもできません。

そのために、「わかば」の開所式もこじんまりとした催しものになりました。
来年こそはコロナの影響のない「榎の木」30周年の盛大な記念祝賀会の開催を期待したいものです。

おかげさまで仲間からはコロナ感染者が一人も出ておりません。

それは、施設の徹底した、職員等による消毒等の衛生管理、それから仲間、ご家族の方の体調管理のおかげと
しております。

職員、仲間、そのご家族の方の感染予防の管理と体調管理の努力に対して、この場をお借りしまして、お礼を申し上げたいと思います。

しかしながらコロナの感染者はまた猛威を振るっています。より一層の感染対策が必要です。

榎の木も30年という年輪を重ねてまいりました、何事にも折れない大きな巨木になりつつあります。これから榎の木は限られた社会資源の中で、安心して多くの仲間が有効活用できる安定した障害者の社会福祉施設として、さらに上をめざしていこうと思います。皆様のご協力をより
しくお願い申し上げます。 榎の木理事長 賀来進



※ 2022年のふれあいバザーは感染症対策の観点から中止となりました、ご了承ください。

